

2026 年 10 月 10 日 (土)

SUPER FORMULA 第 9 戦 予選・決勝

富士スピードウェイ

予選結果

#64 : 14 位

#65 : 1 位

決勝結果

#64 : 10 位

#65 : 優勝

概要

- ・ 2 レース大会の 1 レース目となる第 9 戦
- ・ Q1 を 2 番手で通過したイゴール・オオムラ・フラガが Q2 でトップタイムを叩き出しポールポジション獲得
- ・ 決勝では、ポールポジションからスタートしたフラガが首位を守り切り、今シーズン 2 勝目
- ・ 14 番グリッドからスタートした佐藤は、徐々に順位を上げて 10 位でフィニッシュ

コメント

総監督 : 中嶋 悟

「もう、嬉しいの一言です。明日ももう 1 レースありますので、引き続きベストを尽く

します」

監督：伊沢 拓也

「65号車は、イゴール選手が昨日の好調を維持してポールポジションを獲得し、決勝でも素晴らしいストラテジーでトップチェッカーを受けてくれました。完璧な一日だったと思います。SUGOでの悔しさを完璧な形で晴らすことができ、本当に気持ちのいいレースになりました。メカニックの作業も含め、厳しい場面でもしっかり力を発揮できるチームになってきたと感じています。そのなかで、ダンディライアンレーシングを相手に戦って勝てたこともうれしく思います。佐藤選手については、昨日が完璧な内容だっただけに、Q2進出を逃したのは残念です。ただ、今大会は2レース制で明日もチャンスがあるので、そこを前向きに捉えて挽回を期待しています。チームとしては、明日こそ2台そろって表彰台を目指したいです。今日の結果でチームランキングは2位に上がったので、この順位をしっかりと守ってシーズンを締めくくりたいと思います」

#64：佐藤 蓮

「予選ではタイヤのウォームアップをうまく合わせ切ることができませんでした。昨日のフリープラクティスではいい形でアタックできていましたが、今日は時間帯もコンディションも違っていたので、路面状況に合わせてウォームアップしようと考えて走っていました。ただ、思っていたほどうまく温められず、タイヤのピークを使い切れないまま予選を終える形になってしまいました。悔しさの残る予選にはなりましたが、クルマ自体のポテンシャルが高いことは分かっているので、明日はしっかり切り替えて臨みたいと思っています。決勝のロングラン自体も悪くはなかったのですが、前に他車がいる状況で走る時間が長かったので、純粋な評価はまだしばらくあとがありそうです。セクターごとに課題の残る部分もあったので、そこをどう改善していくかが明日に向けて重要になると考えています」

#65：イゴール・オオムラ・フラガ

「最高的一天になりました。チームのみんなが素晴らしい仕事をしてくれて、予選、決勝ともに高いパフォーマンスを発揮できるクルマで戦えましたし、ピットワークも完璧で、本当にうれしいです。スタート直後は、後続がバトルしている間にギャップを築

けたことが、レース後半に向けて有利に働きました。そこでオーバーテイクシステムを使わずに済んだことも、ピットアウト後の 2 周で大きなアドバンテージになったと思います。予選のフィーリングが良かったぶん、レースでももう少しリードを広げられるかと思っていましたが、ひとつのミスで簡単に逆転されかねない状況が続いていました。だからこそ、自分にできることはノーミスでペースを維持し続けることだと考え、そこに集中して走りました。これまでの 2 勝はスプリントレースでのものだったので、フルレースでもしっかり勝ちたいと思っていましたし、ポールポジションも獲りたいと思っていました。その両方を達成できたことは大きな自信になりますし、本当に最高です。チャンピオンシップ 2 位も現実的な目標になってきたので、明日もそこを目指して全力で戦いたいです」

※明日（11 日）は第 10 戦の公式予選が 10 時 00 分から行なわれます。